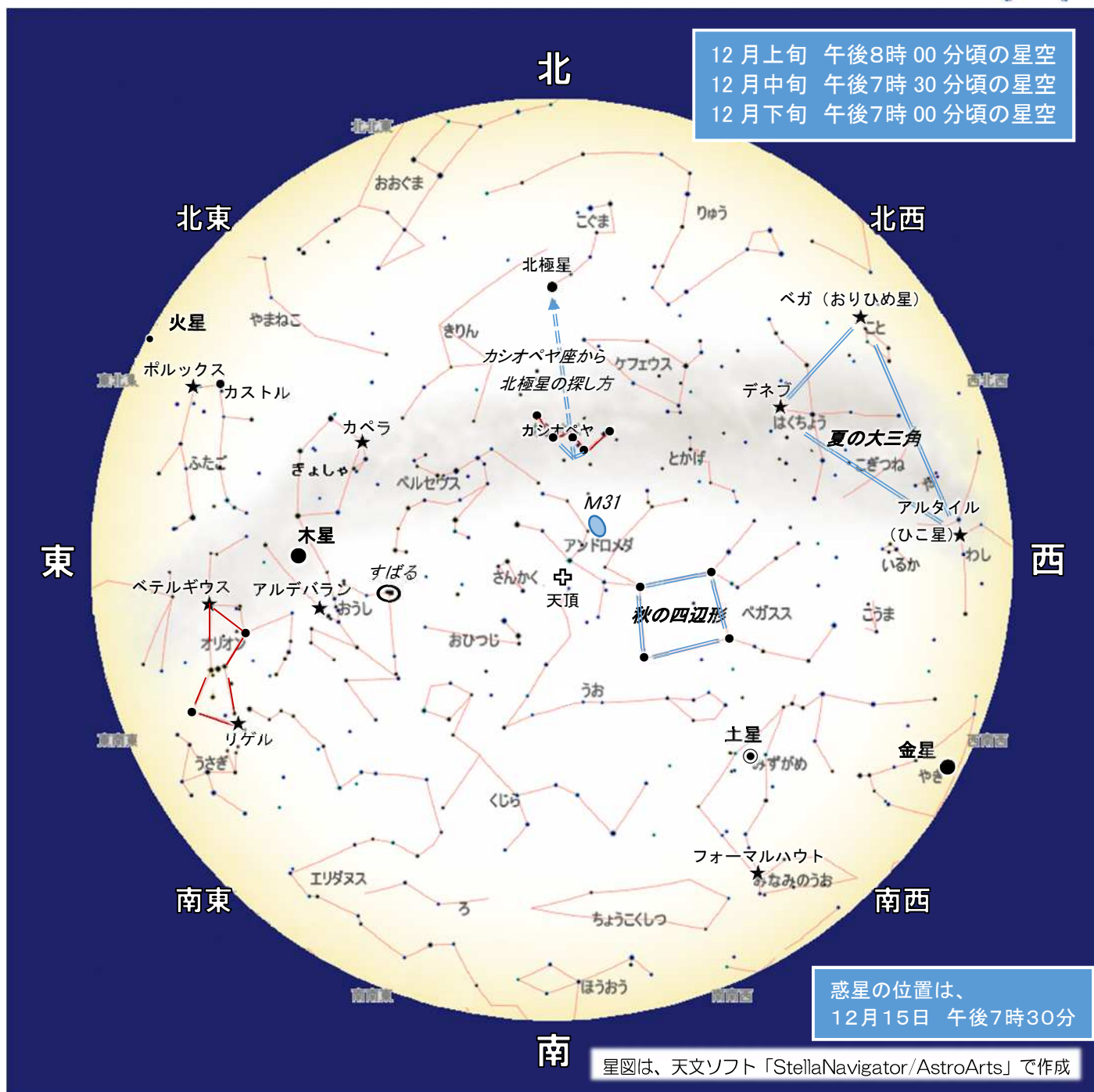


2024年 12月の星空案内



【12月の星空 と ふたご座流星群】

21日が冬至です。夜が長いので、たくさんの星座を観察できます。日没後しばらくは、まだ西の空に『夏の大三角』が見えています。天頂付近には、『秋の四辺形』が見えます。東の空からは、ぎょしゃ座、おうし座、ふたご座、オリオン座など 1 等星を持つ冬の星座たちが昇ってきます。

14日午前 10 時ごろを極大予想（天文年鑑）とする「ふたご座流星群」は三大流星群の 1 つです。15日が満月ですので、条件はよくありませんが、見えるかどうかチャレンジしてみましょう。放射点はふたご座のカストルの辺りですが、四方八方に空全体に飛ぶので、暗くて見やすい方向の空を見ると良いでしょう。明るいうちに、安全に観察できる場所を見つけ、しっかり防寒対策をして観察してください。

【土星が月にかくされる】

8日(日)の18時過ぎ、東北から関東、四国、沖縄などで、「土星」が月齢 7.1 の「月」にかくされます。
東京：潜入 18 時 19 分→出現 18 時 59 分
2024年版「天文年鑑」参照